

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2007・3・15 No. 180 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

暖かい日をあびて、道のかたすみで花開くチューリップ。通りがかりの人に声をかけようと同じ方向を向いて首をのぼす。日だまりはポカポカと暖かそう。
明るい日差しに對抗するように、存在を強くアピールするチューリップ。太陽の光を直接あびて、つややかにかがやく。花びらは厚手のビロード生地のように、しっかりとしていながら、手ざわりはやわらかそう。
目で見る写真から、手でさわる感覚や気温まで感じることができる。暮らしの中の「記憶」が、視覚とそのほかの感覚を結びつけるのかもしれない。
(写真：中根静男／文：たかべ としき)



人形をとおして、見る人と演じる人が“ふれあう”

豊かな心をはぐくむ人形劇

〔こどもの城〕には、人形劇やパネルシアターなどを題材としたさまざまなプログラムがあります。人形劇そのものの公演を中心にしたものだけでなく、親子遊びや音楽遊びのなかに組み込まれていたり、身近な材料で人形を作って遊ぶ（演じる）プログラムもあります。いろいろな人形劇がありますが、観客である子どもたち

の目の前で、人形つかいが人形をつかって芝居を演じる場所は共通しています。見る側の人も、演じる側の人も、たがいの息づかいを感じながら人形劇を楽しみます。“人形”をとおして気持ちをかよいあわせる——人と人とのふれあいが豊かな心をはぐくんでいきます。“人形劇”の楽しさをさぐってみました。

いろいろな人形劇に出会う 「おはなし人形広場」

4月からプレイホールで「おはなし人形広場」が始まります。春休み、ゴールデンウィーク、夏休みなどの特別期間をのぞく日曜日（15時から。毎月1・2回。第1回は4月22日）に開催します。土曜日に音楽ロビーで行われていたプログラムがプレイホールに移り、開催曜日が変わります。

人形劇団による公演が中心で、棒使いの人形もあれば、パネルシアターもあります。みんながよく知っている昔話もあれば、創作童話もあります。いろいろな人形劇に出会うことができる“広場”です。

「おはなし人形広場」では、見る人と演じる人



スタッフによる人形劇の公演

がいっしょになって、子どもたちの目の前で人形劇が演じられます。見ている子どもたちには、人形の動きだけでなく、演じている人の息づかいや気持ちまでもが伝わってきます。演じている人たちにも、見る人の気持ちがそのまま伝わります。見る人と演じる人は人形をとおして“ふれあう”こととなります。

ないんです。だから、1回1回の公演がとても大切なんです。

上演されている人形劇が“1回かぎり”のものと考えると、見る人にとっても演じる人にとっても“1回かぎり＝今”が大切になってきます。その気持ちが、見る人と演じる人の“しんけん”につながり、生のおもしろさを支えます。

「私たちは、頭や手が見えたりしても、あえて隠そうとはしません。人の手で人形をあやつっているからです。子どもたちがおとなになるためには、たくさんを経験しなければならぬと思います。経験することのお手伝いができれば、と思います」と話しています。



「パネル劇場ばねるっば」の公演



「人形劇・木ぐつ木」の公演

今だけ、1回かぎりの出会い たがいが“しんけん”に

「おはなし人形広場」にたびたび出演している、人形劇・木ぐつ木のスタッフは「（みんなの目の前で、人が人形をあやつって演じてみせる）生の人形劇のよさをあじわってほしい」といいます。「今、この場所で演じられている人形劇は、今だけの、1回かぎりの人形劇なんです。（見のがしたから）もう1回、なんてことはでき

“生”のおもしろさ知ってほしい

どんな人形劇がはじまるのかと胸をわくわくさせながら、子どもたちが「おはなし人形広場」に集まってきました。顔見知りもいれば、初めて出会った人もいます。見る人だけではなく、人形劇を演じる人も“広場”にやってきます。人形が、人と人とを結びつきます。

見る人と演じる人のあいだには、自然と“つながり”が生まれます。見ている子どもたちの熱気を感じれば、演じる人はそれにこたえるように力が入ります。見る人の気持ちが、そこで今、



スタッフによるパネルシアターの公演

安心して接することができる人形

人形にはふしぎな力があります。お気に入りの人形に名前をつけて話しかけたり、いっしょに遊んだり——友だちだったり、もう一人の自分だったりします。だから、人形が登場する人形劇に、子どもたちはより親近感をもつかもしれません。

自分の体より小さな人形は、小さな子どもたちにとって安心して接することができる存在だから、“人形の気持ち”が分かりやすいのかもしれない。人形が演じる人形劇をとおして、自分をふくめた人の心・感情（よろこび、悲しみなど）、人と人とのつながりなどを知り、豊かな心をはぐくんでいくのではないのでしょうか。



〔こどもの城〕のマスコット“マック・マックロー”とそのなかまたちを主人公にした「マックロー人形劇」も、ボランティアのみなさんが定期的に上演しています。

上演されている人形劇にも反映されるのです。それが、テレビや映画とちがった、人がその場で演じる“生”の人形劇のおもしろさです。

※〔こどもの城〕では、「おはなし人形広場」のほかにも、音楽ロビーや保育室のプログラムのなかで人形劇やパネルシアターを取り上げることもあります。また、「人形劇」「パネルシアター」「紙芝居」「影絵」「絵本の読みかたり」「絵本であそぼっ」などのボランティアグループも定期的に活動しています。

見つけよう みんながもってる いいところ
児童福祉週間は、五月五日の「こどもの日」からの一週間。昭和二十二年（四十七年）から、子どもや家庭、子どもの健全な成長について国民全体で考えることを目的に、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業・行事を行っています。

平成19年度
「児童福祉週間」
5月5～11日

春だ！ 友だちいっぱい
みつけよう

おはなし人形広場
なんどのぼうけん
おもしろマーケット
おしるマーケット
想像の木をつくる！
ドキハラキャッスルダンス
走れ！キャッスルトレイン&カー

2007 春休み特別期間
3月24日(土)～4月5日(木)

開館時間 10:00～17:30
(入館は17:00まで)
入館料 ●こども400円(3歳以上18歳未満)
おとな500円

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
☎03-3797-5674 03-3797-5675
http://www.kodomo-no-siro.or.jp

こどもの城

きょうもおいしく
いただきま〜す！

児童福祉施設給食用
スキムミルク

スキムミルクってなあに？
栄養価が見直されるスキムミルク

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪がきわめて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも、さまざまなお菓子作りにも幅広く活用していただけます。さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など、成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品として高く評価されています。大人だけでなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪・低エネルギーのスキムミルクをじょうずに給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お問い合わせは
TEL 03-3591-3245

財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216
児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

